

2018年度
平成30年度

第9期
事業報告

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっています。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立しました。

2018年度は、NPO等市民公益活動団体への支援プログラム「寄付と助成のプログラム」に加え、地域円卓会議の取り組みも年間8回実施しました。また、東近江市、千葉県、静岡県、佐賀県、においても沖縄式地域円卓会議の手法を用い地域課題の共有の取り組み、広がりを見せています。また、遺贈寄付の取り組みを広げることから、専門家とともに遺贈寄付勉強会を隔月で開催し、遺贈寄付が安心して行われるよう環境整備に取り組みました。

2016年12月9日には休眠預金活用法案も成立し、2019年1月には指定活用団体がJANPIAに決定しました。社会的投資の視点で国や企業、社会の資金の活用が図られる一方でその成果も厳しくみられ、社会インパクト評価として、評価軸の模索が始まっています。

社会環境が大きく変化した年でしたが、本年度も当財団は、地域の困りごとを解決するための基金として、企業や個人の寄付を解決に取り組むところへ届けました。

組織理念：みらいファンド沖縄のミッションとビジョン

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。
(定款第3条)

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む


公益ポータルサイトの運営
ソーシャル・ヒトワク
広報誌等による情報発信
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催
他機関の助成プログラム等の支援
企業CSR/CRMの促進

組織概要

名称  公益財団法人
みらいファンド沖縄

英名 Mirai Fund Okinawa Inc.Foundation

設立年月日 2010年4月23日

公益認定日 2011年4月1日

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

代表理事 小阪 亘

設立経緯 財団設立供出金300万円を
93名の市民から寄付を頂いて設立

住所 〒903-0824
沖縄県那覇市首里池端町34 2F内

加盟団体 一般社団法人全国コミュニティ財団協会
一般社団法人全国レガシーギフト協会
沖縄の子どもの未来県民会議

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



設立時拠出金に寄付くださったみなさま

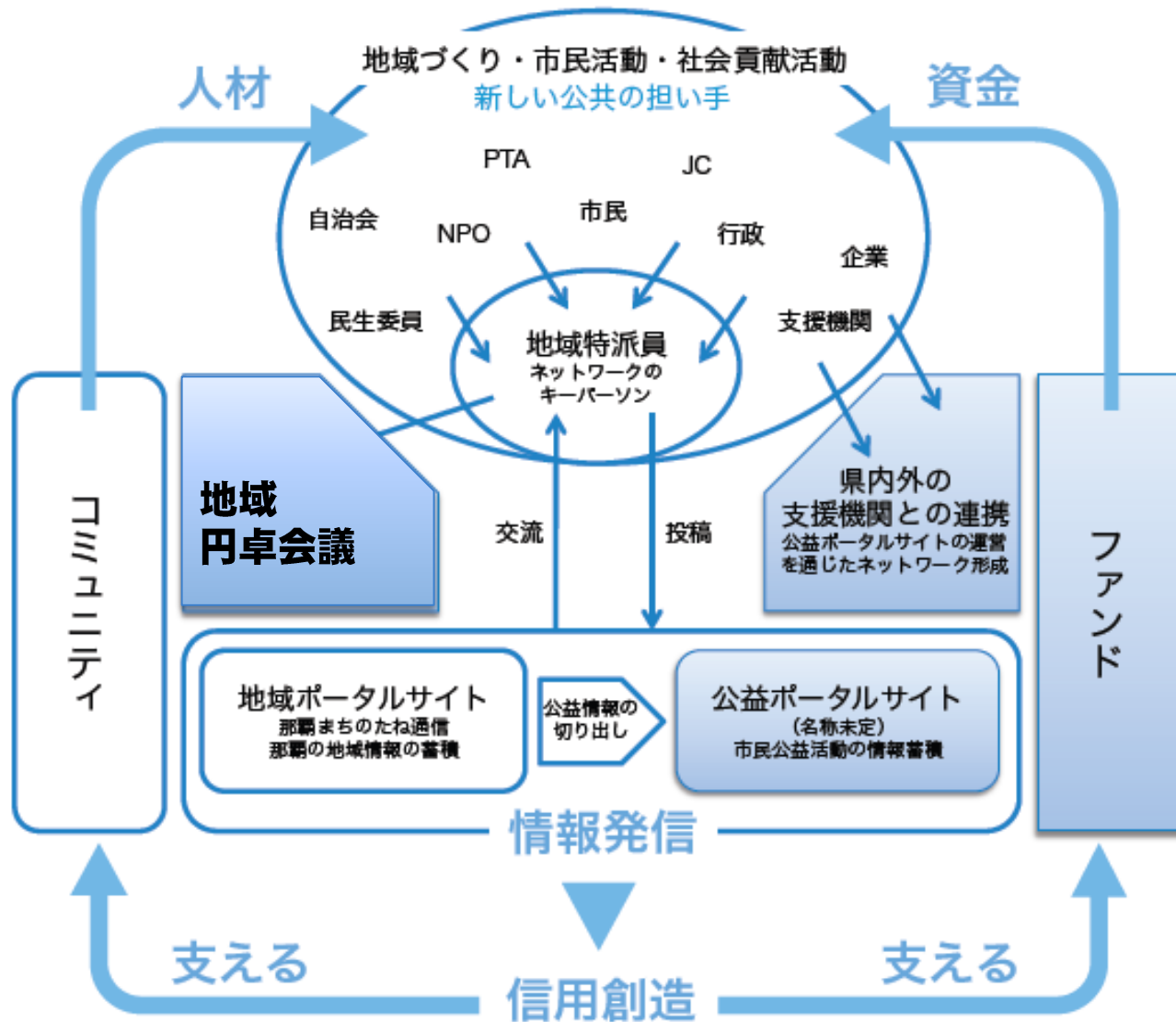
(五十音順・敬称略)

秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有)新垣ちんすこう菓子店
有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO 法人アンビシャス
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株)エフエム那覇
(株)エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造(株) 金城 嘉志
金城 和光 (株)クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵
新星出版(株) 杉浦 幹男 関口 宏聡
税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子
地域情報エージェント(株) 知花 茂 知念 金徳
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美
匿名にて寄付くださった方々

(合計 93 名、300 万円)

みらいファンド沖縄事業スキーム (2010 ⇒ 2018)

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

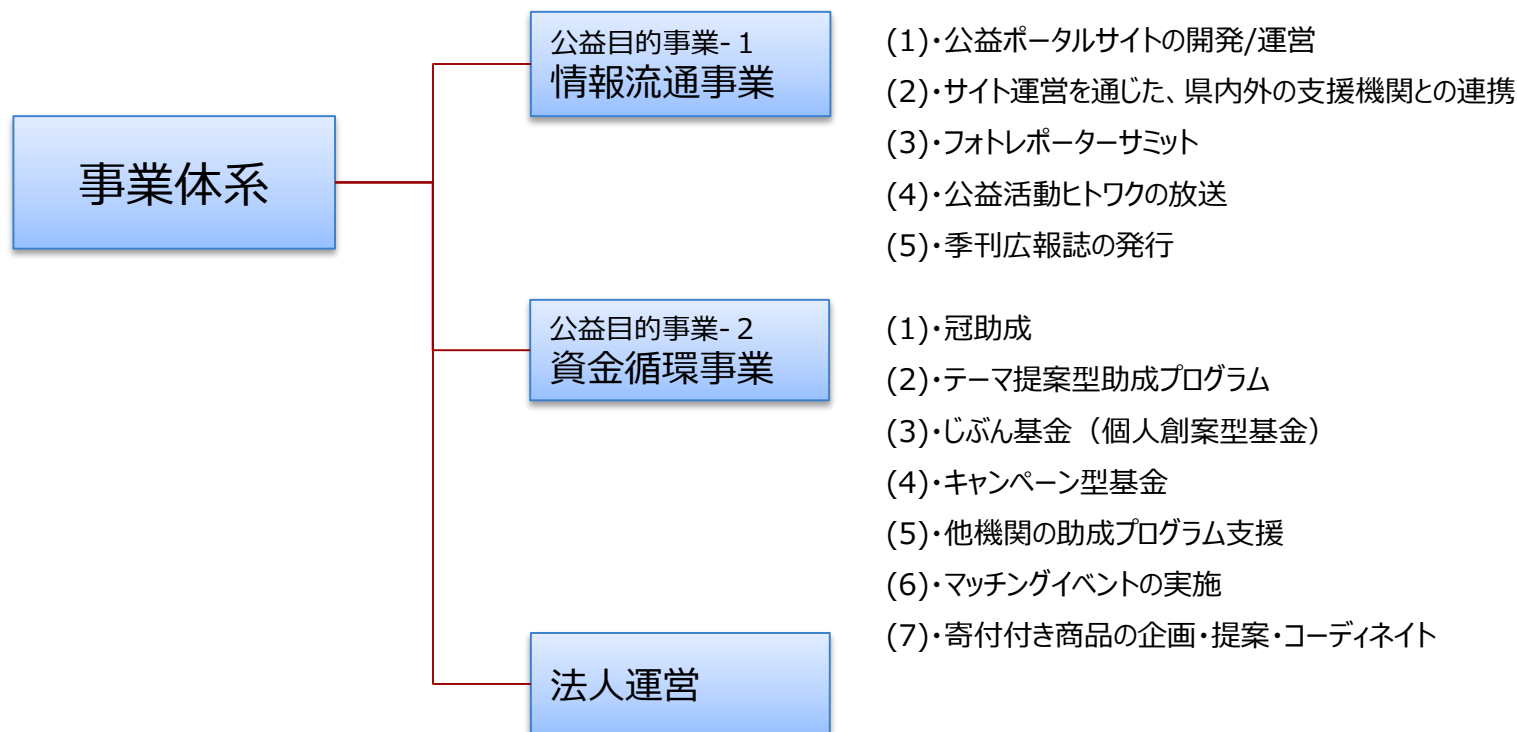


2018年度事業

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



2017年度の受入寄付額 19,839,830円 (74件)
前年度比 10,509,639円 (-4件)

基金

寄付総額 30,349,469円 (70件)

- 2018年度内の採択：第11期たくす 3事業
カスタマイズ 1事業
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金、宮里大八国際交流基金
- 沖縄まちと子ども基金、
寄付募集目標総額 10,336千円 前年度受付寄付総額 631千円

寄付月間2018 沖縄パネル展の開催

- 沖縄県庁1階ロビーにて開催 (12月3日～7日)
参加：NPO8 民間6 沖縄県1 大学1



地域づくりのための助成事業活用シンポジウム
2018.7.8

助成

「寄付と助成のプログラム」採択が通算29事業に

- たくす 第10期 3団体
たくす 第11期 3団体、 カスタマイズ 2団体
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 2名

課題 解決

地域円卓会議が好評！ 8回開催・支援

- 開催場所 (那覇市、西原町、南城市など)
- テーマ (子どもの貧困、認知症見守り、島へのUターン等)
- 沖縄子どもの未来県民会議より3本の円卓会議を受託
コレクティブインパクト事業の実施

全国コミュニティ財団協会委託事業で

- 認知症みまもり自販機 ・ 子どもの貧困

遺贈寄付勉強会・助成財団シンポジウムを開催



沖縄子どもの未来県民会議 地域円卓会議
in沖縄県立図書館 2019.2.12



沖縄県庁職員による フードドライブ



贈呈式の様子

期間：12月3日（月）～14日（金）

場所：沖縄県プラザ（受取窓口）

内容：食料208キロ

贈呈先

NPO法人フードバンクセカンド

ハーベスト沖縄

寄付月間パネル展 沖縄県庁1階ロビー



県庁1階ロビーパネル展

期間：12月3日（月）～7日（金）

場所：沖縄県1階ロビー

参加団体

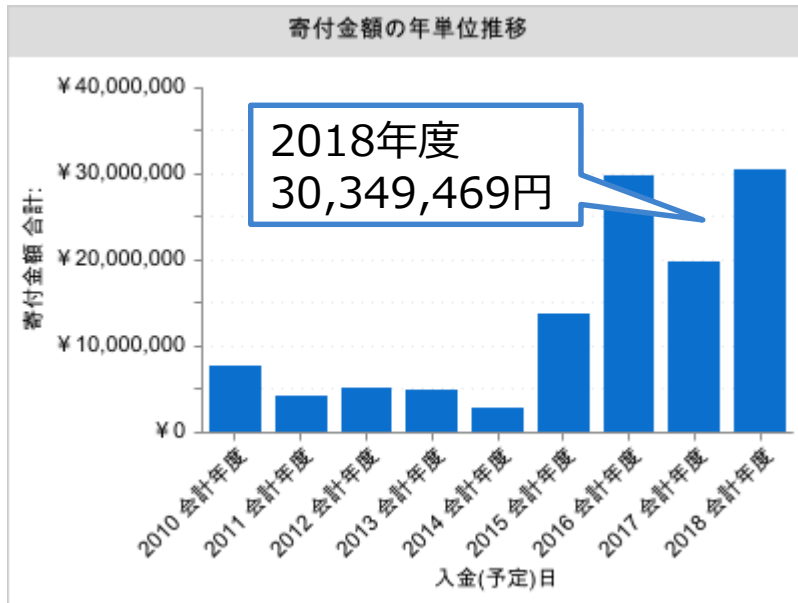
NPO 8団体

企業 6団体

行政 1団体

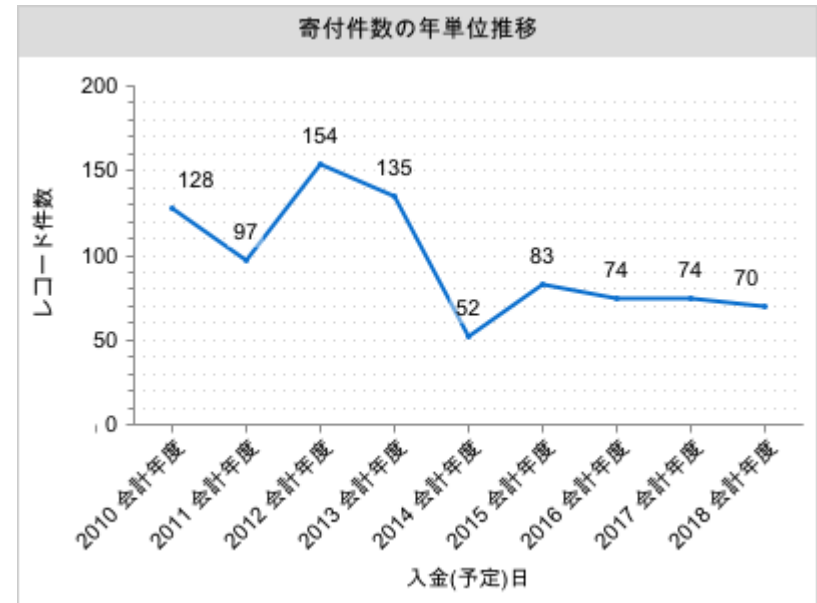
大学 1団体

2018年度寄付金額と件数の推移



寄付総額

118,188,874円



延べ寄付者数

867件

2018年度は下記方針で取り組んだ

2018年度 方針

- ◆ 地域円卓会議の取り組みを通じて、課題解決へ向けての取り組みを行う
- ◆ 寄付者が解決したい課題に対して、じぶんの基金が作れるじぶん基金の仕組みを広げる
- ◆ 遺贈寄付の受入体制をつくる（2015年度1件1,000万円実績有）
- ◆ 市民コミュニティ財団ガイドラインに基づく組織運営

2018年度の概況

沖縄の寄付文化醸成のために、2014年6月に一般社団法人全国コミュニティ財団協会を設立し、2018年度で、正会員17団体、準会員8団体と年々増加傾向にあります。当財団は九州ブロック理事として参画し、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めています。

一般社団法人レガシーギフト協会にも加盟し、遺贈寄付の環境整備に取り組んでいる。今年度は、遺贈寄付研修を沖縄で初めて開催しました。

12月には、全国で寄付を推進する月間として、「寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう」が行われた。当財団も寄付月間推進委員として沖縄での推進に取り組み、沖縄県とともに県庁ロビーで寄付月間パネル展を開催した。寄付月間2017 賛同パートナー特別賞 沖縄県が受賞しました。

「公1 情報流通事業」は依然として資金の調達が難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(1)	公益ポータル運営	通年	NPOデータベース登録数：現在335団体 年間閲覧数：ページビュー21,286（昨年度23,304）-8.66%減 今年度は更新ページを少し工夫して読み物ページなど検索にあたりやすい施策を行っていく。また、どのページで離脱しているのかを計測・判断し、「ページ離脱」の改善も行っていく。
公1 -(2)	他機関連携・情報収集	—	全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回） ・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財）へ参加 理事会、研修会への参加 ・全国レガシーギフト協会 ・寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう ・寄付月間推進委員 ・委員：沖縄子どもの未来応援県民会議 事業推進部会 委員（小阪）

公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	通年 再放送あり	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm（78.0MHz）で放送した。 NPOヒトワク- 放送回数12回 （2010年度からの通算189回）
公1 -(5)	広報誌の発行	12月	みらいファンド沖縄活動報告書（2010-2018）を発行した 
公1 -(5)	メールニュースの発行	通年	イベントや助成金の情報、mfoの支援NPOの紹介等を行うメールニュース及びFBで情報発信を行った。イベント直前等に臨時号を発行している。

公2 資金循環事業

2018年度の概況

「寄付と助成のプログラム」では第10期が寄付募集活動支援期間が終了し、第11期は、3事業が採択され寄付募集を行っている。また、寄付と助成のプログラムたくすの高額寄付募集として、カスタマイズ（募集期間・手数料が異なる）を行い、今年度も寄付募集を継続し多額の寄付を寄せていただいています。

じぶん基金の一つである新崎盛暉平和活動奨励基金では、助成の実施から事業報告会まで実施した。助成個人名称を冠したDAF（ドナー・アドバイズド・ファンド）の創設に引き続き力を入れていきます。

今年度は公2 - (5) 他機関の助成プログラム支援に取り組むことが出来ました。助成財団センターとともに、沖縄地域の助成プログラム担当者向けセミナーを開催し、各助成プログラムの向上に貢献することができました。

マッチングイベントでは、2010年度より開催を重ねてきた「地域円卓会議」は引き続き好評で、2018年度は8回開催した。また、全国コミュニティ財団協会より、コレクティブインパクト事業を受託。認知症見守り自販機と子どもの貧困に取り組んだ。

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(1)	世界若者ウチナンチュ大会支援基金	2012年6月設置	基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。
公2 -(1)	沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	募集するも申請がなく次期繰り越し

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第10期たくす	寄付募集支援期間 2017年9月～ 2018年8月	第10期たくす 2017年9月～2018年8月 採択団体：3団体 ・NPO乳がん患者の会 ピんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・NPO法人一万人井戸端会議 寄付受入総額 1,490,000円 助成総額 1,323,073円
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第11期たくす	寄付募集支援期間 2018年9月～ 2019年8月	募集期間：2018年7月10日～8月10日 対象事業募集 説明会 日時：2018年8月2日（木）19:00～20:00 場所：天久ヒルトップ 相談室 選考会： 日時：2018年8月28日（火）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄事務所 採択団体：3団体 ・NPO乳がん患者の会 ピんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・NPO法人ちゅらゆい 寄付募集目標総額 9,660,000円

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ 	寄付募集支援期間 第1期 2015年12月～ 2016年11月 第2期 2016年12月～ 2017年11月 第3期 2017年～ 2018年12月	寄付と助成のプログラムたくすのカスタマイズ 高額寄付募集のため、・期間（寄付募集、助成） ・手数料 以外は、通常版とは異なるが、それ以外は寄付と助成のプログラ ムたくすと同じ仕様 採択団体：特定非営利活動法人 アルコール・薬物依存症リハビリセンター琉球GAIA 寄付募集目標総額：60,000,000円 件数：27件 寄付総額：70,820,000円（2019年3月31日現在） 助成総額 66,566,100円（2019年3月31日現在） 助成事業実施報告完了
公2 - (2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間 2019年1月～	申請団体：一般社団法人長生楽 選考会： 日時：2017年12月19日（木）18:30～19:30 場所：みらいファンド沖縄事務所 採択結果：条件付き採択 寄付募集目標総額：3,000,000円 件数：2件 寄付総額：1,160,000円（2019年3月31日現在）

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	寄付募集支援期間 2015年9月～	Okinawan Dreams Project2018 沖縄における児童養護施設やひとり親の家庭の子どもたちを対象に、英語によるコミュニケーションを学び、海外留学体験をサポートするプログラム。 募集期間：2018年6月12日（火）～7月6日（金） 助成決定数：4人 / 応募総数15人 寄付受入総額は、3,048,029円（2019年3月31日現在）
公2 -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置 寄付募集支援期間 2017年3月～	沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。 寄付募集目標金額：3,000,000円 （第2期）募集期間：2018年3月6日（水）～6月15日（金） 選考会： 日時：2018年6月18日（月）18:30～20:30 場所：みらいファンド沖縄事務所 助成金額：30万円 渡嘉敷健さん（基地建設の沖縄自然環境への影響を伝えている） 助成金額：40万円 金 閻愛さん（The Informed-Public Project（IPP）代表） 助成報告会 日時：2019年5月下旬予定 場所：八汐荘



選考会の様子
2018.6.18

* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファン ドレイジング等の支援に関する業 務	1月	遺贈寄付勉強会の実施 参加団体 みらいファンド沖縄、シナジープラス、TAパートナーズ など
公2 -(5)	地域づくりのための 助成事業活用シンポジウム	7月8日	<p>地域づくりのための助成事業活用シンポジウム</p> <p>日 時：2018年7月8日（日）13:00～17:00 場 所：沖縄県総合福祉センター ゆいホール 参加者：132名</p> <p>第1部 基調講演 「助成金を出す立場から、助成金の活用する皆さんに伝えたい5 つのこと」 鈴木祐司さん（公益財団法人地域創造基金さなぶり 専務理事/事 務局長）</p> <p>第2部 助成金を活用して成果をあげた団体からの事例報告 第3部 情報提供 助成財団等との名刺交換交流会</p> <p>■主 催 地域づくりのための助成事業活用シンポジウ ム実行委員会 ■構成団体 沖縄県地域づくりネットワーク、おきなわア ジェンダ2 1 県民会議、沖縄県企画部、（公社）沖縄県地 域振興協会、社会福祉法人沖縄県共同募金会、社会福祉法 人沖縄県社会福祉協議会、（公財）沖縄県文化振興会、沖 縄銀行、琉球銀行、沖縄ろうきん、コープ沖縄、沖縄子ど もの未来県民会議、琉球新報、（公財）みらいファンド沖縄</p>




公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：8回 参加人数：368名

	日付	内容	主催	参加人数
1	6/3 (日)	久高島へのUターンを考える地域円卓会議	南城市、久高区	18名
2	10/2 (火)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (子どもの居場所)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	60名
3	12/17 (月)	子どもの居場所の資金を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	40名
4	12/18 (火)	単身シニア女性の貧困を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	24名
5	1/14 (月)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (企業)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	47名
6	1/26 (土)	認知症でも安心して暮らせるまちの実現に向けて民間の力を活用したまちづくりを考える	沖縄県	49名
7	2/12 (火)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (教育と福祉)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	85名
8	3/9 (土)	公共交通を福祉とまちづくりの視点から考える地域円卓会議	那覇市議会無所属の会	45名

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(6)	コレクティブインパクト事業 	通年	沖縄における重要課題において、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む ①沖縄県認知症高齢者見守り推進事業 日時：2019年1月26日（土） 場所：宜野湾市民図書館 内容：第1部 搜索地域円卓会議 第2部 地域円卓会議 ②子どもの貧困問題の解決
公2 -(6)	寄付月間2018	12月	寄付月間パネル展の実施 期間：2018年12月3日（月）～12月7日（金） 場所：沖縄県県庁1階ロビー 参加：NPO8 民間6 沖縄県1 大学1
公2 -(6)	各種勉強会の開催	随時	地域円卓会議体験セミナー

* 公2-(7)寄付付き商品の企画・提案・コーディネートについては当年度は実施していない

その他（法人運営等）

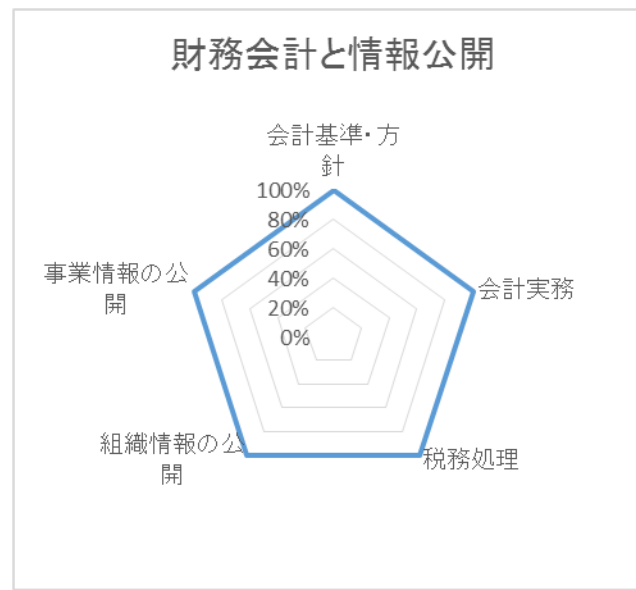
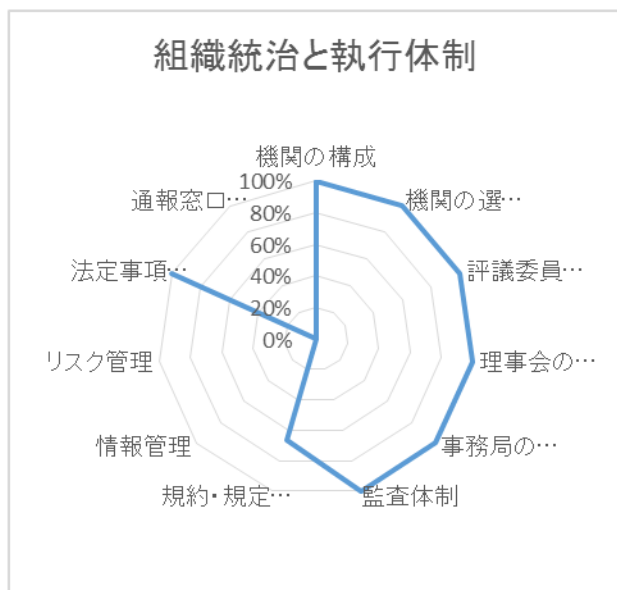
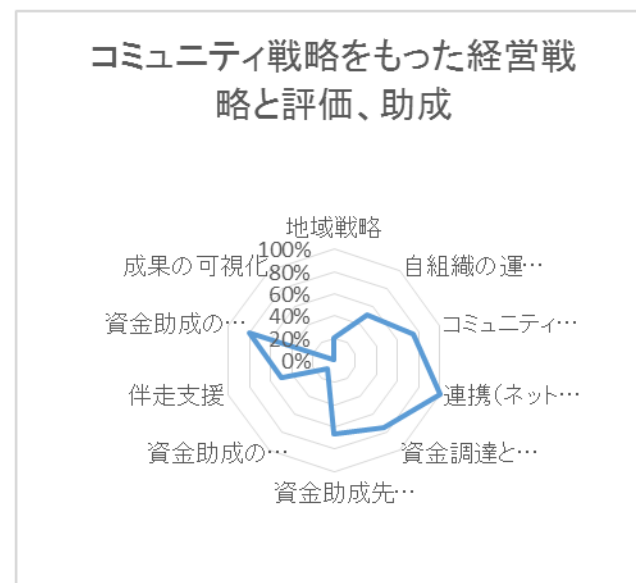
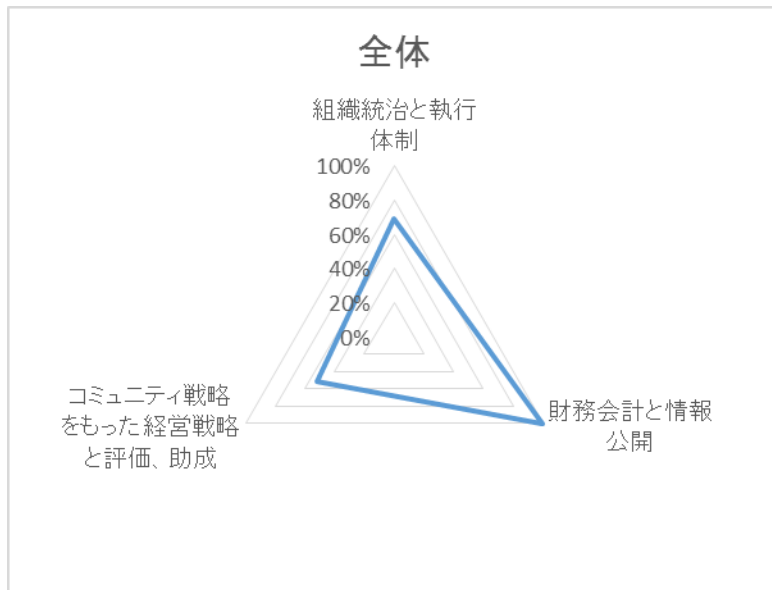
2018年度の概況

法人運営体制について、現在の収入規模に応じた効率的な運営に努め、昨年度に引き続き単年度黒字を達成することができた。一方で年間寄付金額は30,349,469円となり、昨年度に引き続き多額のご寄付をいただくことが出来た。

また、コミュニティ財団ガイドライン（発行：全国コミュニティ財団協会 2016）に基づき運営を行うためセルフチェックを実施した。

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	定時評議員会の開催	6月	期間：2018年6月22日（金）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	理事会の開催	通年	第1回 2018年5月11日（金）13:30～15:30 第2回 2018年6月11日（月）電磁的方法により実施 第3回 2018年6月22日（金）電磁的方法により実施 第4回 2018年9月14日（金）10:00～12:00 第5回 2019年1月11日（金）13:30～15:30 第6回 2019年3月26日（火）10:00～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	事務局体制	随時	定例会 毎週木曜日10時 常務理事にて実施 職員：新城やよい（週3回勤務） 会計業務：大城税理士事務所に委託

コミュニティ財団ガイドラインによるセルフチェック結果



役員一覧

評議員（任期（4年）：2018年6月3日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナギ ジュンイチ 稲垣 純一	沖縄電子ビジネス専門学校 理事
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	ハハ マサヒロ 饒波 正博	沖縄赤十字病院勤務 なは市民協議会
評議員	イトカズ ミキ 糸数 未希	NPO法人にじのはしファンド代表
評議員	モトムラ マコト 本村 真	琉球大学キャリア教育センター センター長・人文社会学部教授
評議員	ツツキ ヨウコ 續 洋子	NPO法人1万人井戸端会議 副代表/事務局長

理事（任期（2年）：2018年6月22日～2020年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	コサカ フタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トウセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	ミヤザト ダイヤ 宮里 大八	琉球大学 地域連携推進機構 特命准教授
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タツヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2018年6月22日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナンロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	株式会社おきなわedu 取締役

受入れ寄付額と助成の実績（2010-2017）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	立上期 財団機能 基盤構築	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を 含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)		5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2013 (第4期)	助成プログラ ム・円卓会議 の確立	4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,875,480円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2015 (第6期)	FR機能の 強化・確立	12,718,093円	38,593,573円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2016 (第7期)		29,679,412円	68,272,985円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2017 (第8期)		19,839,830円	87,839,405円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2018 (第9期)		30,349,469円	118,188,874円	70,000,454円	・受入寄付額にはみら いファンド沖縄への寄 付を含む

略年表 (2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> •キックオフフォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> •衆議院選挙で民主党圧勝 •裁判員制度施行
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> •法人設立 •那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業） •「じぶん基金」プログラム2基金スタート •沖縄NPOデータベース公開 	<ul style="list-style-type: none"> •普天間基地の辺野古移転が白紙に •沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 •「新しい公共」円卓会議 •11月 仲井眞知事 再選 •12月 ISO26000発効 •3/11 東日本大震災
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> •公益財団法人化 •「寄付と助成のプログラム」スタート •H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託 •クレジットカードにて寄付決済サービス開始 •PSTをクリアし、税額控除認定を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> •6月 新しい市民公益税制が成立 •6月 改正NPO法が成立 •7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝 •10月 世界のウチナーンチュ大会
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> •H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託 •「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置 •カンパイチャリティを開催 •「沖縄まちと子ども基金」設置 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 新認定NPO法人制度スタート •5月 沖縄の本土復帰40周年 •8月 ロンドンオリンピック •11月 那覇市長に翁長氏が4選 •12月 衆議院選挙で自民党圧勝 •2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> •4月 事務局をタイフーンfm内に移転 •6月 国交省 事業受託 •7月 累積寄付受入額 2000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 インターネット選挙解禁 •6月 富士山が世界遺産に •11月 旧民法法人の移行特措期間終了

略年表 (2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> ・6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始 ・6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画 ・3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 消費税増税（8%に） ・5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅（通称増田レポートの発表） ・9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。 ・9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会 ・12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選 ・2月 介護保険制度の改正（要支援1, 2が予防給付の対象除外に）
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> ・10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置 ・12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む ・1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる ・2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&サンクスデー ・琉球大学、名桜大学とCOC+円卓会議開催（県内5カ所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・普天間基地の辺野古移転が白紙に ・沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 ・「戦後70年談話」 ・9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫 ・9月19日 参院本会議で“安保法”可決 ・11月13日 「パリ同時多発テロ」発生 ・12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組み が初めておこなれた。 ・2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画 ・11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞 ・11月 全国レガシーギフト協会 設立総会（みらいファンド沖縄加盟） ・税額控除認定 更新 ・1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置 ・累積寄付受入額 5000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新 ・4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測 ・5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問 ・12月2日 休眠預金活用法成立 ・1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任

略年表（2017-2019）

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	<ul style="list-style-type: none"> •11月 助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施 •1月 沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、土業向けに実施 •3月 沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞 •3月 1年間で16回の円卓会議を開催（過去で最高件数） 	<ul style="list-style-type: none"> •1月 トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる •3月 特定非営利活動促進法 成立20周年 •7月 都議選で都民ファーストの会が躍進 •9月 桐生 9秒98 日本人初の10秒台突破 •10月 第48回衆議院選挙 自民党が3分の2議席
2018 H30	<ul style="list-style-type: none"> •6月 評議員、理事、幹事改選 •5月 寄付受入金額1億円突破 •12月 みらいファンド沖縄活動報告書2010-2018発行 •3月 沖縄式地域円卓マニュアル作成費のためのクラウドファンディング実施 	<ul style="list-style-type: none"> •1月 仮想通貨流出、交換業者に改善命令 •5月 将棋・藤井聡太、最年少で七段に •8月 翁長沖縄県知事死去 •9月 玉城沖縄県知事就任 •11月 2025年大阪万博開催決定
2019 H31		